

森のお山歩くらぶ主催

## 春の女神を訪ねて

### ～ギフチョウが舞う！石砂（いしざれ）山～

2018年4月11日（水）

今回初めて実施する、「ギフチョウ」を観るのが主目的のハイキングです。アプローチが悪く、一般的には知られていない場所ですが、「ギフチョウに会いたい！」という方々が 49 名も参加してくださいました。

JR 藤野駅から路線バスでやまなみ温泉へ移動、バスターミナルで開会式を行い、歩いて篠原に向かいました。心配していたほど天気は悪くありませんでしたが、時折吹く春の嵐のような風が、新緑に覆われた山を揺らし、「山笑う」というより「山がウェーブ」して私たちを応援してくれているようでした。

車道を 1 時間半ほど歩く間、タチツボスミレ、マルバスマシレ、アメリカスミレサイシン、アリアケスミレ、ノジスミレ、スミレ、ミヤマキケマン、フデリンドウ、キランソウ、ミヤマナルコユリ、ホウチャクソウなどの草本類、イタヤカエデ、ウリカエデ、ヤマザクラ、オオツクバネウツギ、ミツバウツギなどの木本類の花を観察しました。

篠原で昼食後、いよいよ石砂山の登山道に入りました。少し登った道沿いにギフチョウの食草であるカンアオイがあり、葉っぱをめくってみると真珠のような卵が産みつけられていました。期待は高まり尾根道をどんどん登っていきましたが、30 分ほどの間に結局ギフチョウは姿を現さず、時間切れで引き返しました。登山道沿いのヒトリシズカ、シュンラン、センボンヤリなどを鑑賞し、カンアオイがあれば葉をめくり卵を確認しました。

一週間前の下見ではギフチョウを 10 頭ほど確認できましたが、連日の暖かさで急速に春が進んだこと、当日は風がとても強かったことなどが観察できなかった原因と思われます。振り返りでは、スタッフ皆で知恵をしばり改善し、来年は必ずお客様にギフチョウを観ていただこうと意見が一致しました。

【参加人数】 49 名

【FIT スタッフ】丸山正（主幹事）瀬川真治・村上智裕・佐藤たみ子・瀧浪邦子・廣川妙子・望月政雄・小勝眞佐枝（報告）





朝のギフチョウ体操



スマレの観察



石砂山登山口



ギフチョウ恋しや



一週間前のギフチョウ



真珠のようなギフチョウの卵